



# フラッシュ

## ◆富士市大淵次郎長町「白髭神社」

富士市大淵次郎長町は、任侠で有名な清水次郎長(本名・山本長五郎)が中心となり広野であった大淵地区を開墾したことから、地元住民に崇められ次郎長の名を永遠に生き続けることができるよう町名にした由緒ある地域です。

同地に建つ白髭神社は、大正12年に鎮守の神を祀るため、旧安倍郡大河内村の白髭神社の御分霊を勧請して創建。境内には「大俠次郎長開墾記念碑」など清水次郎長の功績をたたえる記念碑がいくつも建てられています。

清水次郎長は、文政3年に清水市美濃輪の海運業者「三右衛門」の第4番目の子として誕生。天下の大物が大悪党になると言われる辰年の元旦生まれであることから、生まれて間もなく叔父(山本次郎八)の養子に出され、山本長五郎として育ちます。人生の前半を博徒として過ごしましたが、親分肌で面倒見も良いことから慕う人も多く、大政、小政、森の石松、増川の仙右衛門など「二十八人衆」と呼ばれた子分がいました。

明治7年に山岡鉄舟が静岡を離れるとき、県令として赴任した大迫貞清により2000円を資金として富士山南麓の開墾事業を奨められ、次郎長の開墾が始まりました。溶岩石が地中深くにあり、湧水のない土地での作業は困難をきたしましたが、多くの囚人を使用して、杉や檜といった木を植え、約76.3ヘクタール(東京ドーム約16個分)の面積を開墾。明治17年に資金不足から開墾事業は中止となり全ての土地は国に返還しましたが、明治21年に官有地払下げを受け30ヘクタールを所有。他界後は三代目おちようが相続して、地元周辺の農家に売ったり、戦後に旧安倍郡や山梨県民が入植したりして現在の整備された農耕地となりました。白髭神社では、次郎長の恩恵を謝し、1月と10月に毎年祭典を行います。令和6年、開墾150周年を迎えます。【情報提供】渡邊勝巳さん



白髭神社

### 理事会だより

定例理事会(7月28日開催)

#### 【協議事項】

- (1) ディスクロージャー誌について
- (2) 貸出業務規程の一部変更について
- (3) 内部統制に関する基本方針の一部改正について
- (4) 不祥事再発防止策の追加について
- (5) 販売中止見舞金規程の設定について

### JA富士市のDATA

(令和3年6月末現在)

組合員	30,668人
(正組員)	5,598人
(准組員)	25,070人
貯金残高	341,549百万円
貸付金残高	70,082百万円
共済保有高	657,365百万円
購買品供給高	318百万円
販売品販売高	251百万円

正組員~39歳/88人 40~59歳/642人  
60~79歳/3,121人 80歳~/1,747人

## HIROBA

2021 No.176

9

### CONTENTS

- 街角フラッシュ ..... 2  
白髭神社 清水次郎長町の歴史
- 理事会だより/JA富士市のデータ
- 【特集】 ..... 3  
JA富士市 第28回通常総代会  
総合事業を基本とした  
不断の自己改革に向けて
- 静岡県東部地区8JA合併経過報告 ..... 6
- 富士の匠 ..... 8  
ふれあい味噌加工グループ  
うみや〜味噌
- JA topics ..... 9
- Kitchen Garden ..... 10
- Information ..... 11
- クロスワードパズル ほか ..... 12

### 表紙

JA富士市営農販売課と豎堀支店が秋山賢さんの畑を借りて栽培した富士山麓わくわくコーンの収穫時期を迎えたことから、近隣の園児たちに地場産農産物の魅力を知ってもらおうと初めて収穫体験を行いました。なかじま保育園の浦田直美園長は「JAに声をかけていただき感謝しています。家庭で食べて地産地消につながれば」と話してくださいました。

